

基板品質を評価します

IPC-TM-650基板品質試験

詳細はこちら http://www.oeg.co.jp/env_meas/ipctm650.html

概要 プリント基板表面が導電性物質やイオン残渣で汚染されていると、基板配線や素子のリードが腐食したり、絶縁不良やマイグレーションを引き起こす原因となります。OKIエンジニアリングでは、IPC-TM-650 2.3に準拠した基板清浄度などの試験サービスを提供します。

特長

- 基板清浄度の規格試験サービスを提供します
- 清浄度の調査のみでなく、故障解析や劣化調査など、様々なニーズにお応えします

IPC-TM-650 2.3とは

電子機器の生産、組立てにおいて、質の高い最終製品を生産し、市場での競争力を維持するためには、生産工程全体で品質を徹底させる必要があります。



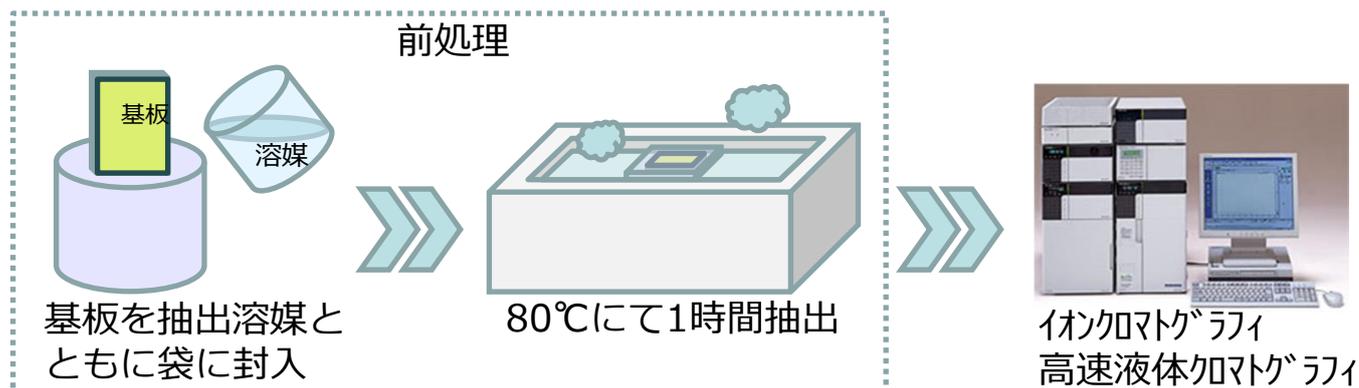
IPC（米国電子回路協会）では、電子製品の設計、購買から組立てにいたるまで、高い品質と信頼性、一貫性を確保できる標準（試験方法）を提供しています。その中で、プリント基板の品質基準について記載されているのが、IPC-TM-650 2.3規格です。

- ◎ご依頼が多い試験
- 2.3.25 基板清浄度測定（電気伝導度）
 - 2.3.27 残留イオン試験
 - 2.3.28 基板清浄度測定（イオンマトグラフ）

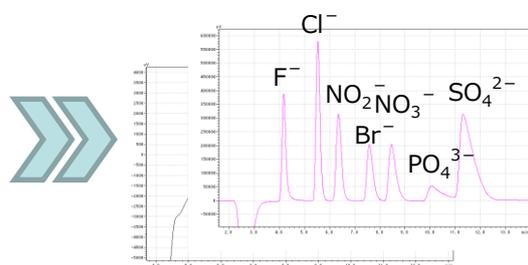


実施例

事例1 IPC TM650 2.3.28 基板清浄度測定 (イオンマトグラフ)



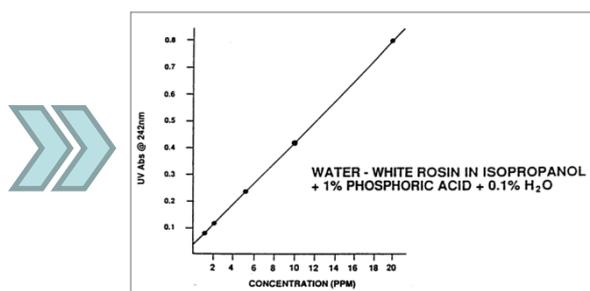
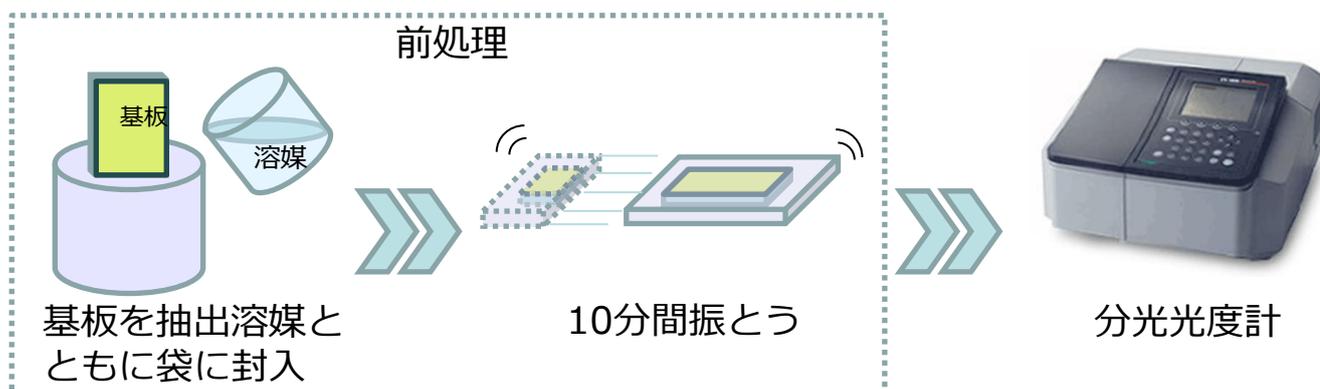
分析項目



アニオン：フッ素イオン・塩素イオン・
亜硝酸イオン・臭素イオン・
硝酸イオン・リン酸イオン・
硫酸イオン
カチオン：リチウムイオン・ナトリウムイオン・
アンモニウムイオン・カリウムイオン・
カルシウムイオン・
マグネシウムイオン

有機酸：酢酸イオン・
アジピン酸イオン・
ギ酸イオン・
グルタミン酸・
メタンスルホン酸イオン・
リンゴ酸イオン・
コルク酸イオン・
フタル酸イオン

事例2 IPC TM650 2.3.27 残留ロジン試験



リガ-ハ-ストを標準物質とした検量線を作成し、測定結果から抽出溶媒中に含まれるロジン量を算出。試料面積から、サンプル単位表面積当たりの残留ロジン量を計算する。